

昨今の先の見えない不況の中、就職活動中の友人がこう叫んでいました。「100年に一度だろうが、最悪の不況だろうが、そんな事で私の人生台無しにさせてたまるか!!」っと。絶対に諦められない夢がある。是非、友人が希望の職につけるよう願うと同時にやる気をもらった一言でした。ちなみに、友人と私の夢は同じ億万長者です☆

営業部/ツヨイ男

5月某日早朝。僕は、オーストラリア西海岸のパースに着いた。人生で初めての海外。どこに行っても、今まで住んでいた故郷と似ても似つかない風景ばかり。そして、どこを見ても日本人は見当たらず、日本語なんて全く通じそうにない。中学・高校と英語の成績はまるでダメだった自分。相手が何を言っているのか分からず、何を言えばいいのかも分からない。「100m」を思い切り「ヒャクメーター」と言ったこともあった。ホームステイ先の家族にも、かなり呆れられていただろう…。あれから幾月。今となっては、苦手だった英語をメインに生活をしている。日本にいる学生時代の友達からは、「考え直した方がいい」とか「おまえには無理だ」とか言われた。でも、最初から無理だと思っていたら、何も始まらない。誰に何を言われても、ここまで成長できた自分に自信を持っている。

営業部/笑っていいとも

いつもは捨てるネギの根を、庭の花壇に植えたところ、すぐに現れた新芽に感動し、その成長を観察している20代男とネギとの記録。

営業部/ネギ太郎

美味しいお茶を淹れることは、なんて難しいことか。心を込めて、修行の日々は続きました。

そして、待望の!キラキラと輝く生まれたてのお茶との出会いに、心が躍り、弾け飛んだのでした☆

編集部/お茶汲み子

“ピッ”と跳ねて、“グッ”と出る。“パッ”と立って、“ヒュ”と伸びる。“スッ”と反って、“パッ”と上がる。“シュ”と入って、“サッ”と飛ぶ。生まれてきてくれてありがとう。

編集部/“感謝”

## 寄稿者の方々からの11周年お祝いメッセージ

### On the Road 宇田有三

11周年を迎えるんですね。毎年のことながら、月日の経つのは早いものです。誰でも(人でなくても)、1年の中で何らかの節目がある(無いと言え無いが)なのでしょう。その節目をどう迎えるのか。私の場合、それが今回の震災関連の原稿で表した節目で、一つの区切りなのだろう。自分が取材される立場になり、と同時に、何をどう伝えるかを再確認させられた事件であるからだ。



南部虎弾 パースエクスプレス11周年おめでとう、ウォーリアー!!

三五十五 11周年おめでとう!俺たちにとっても第二の故郷オーストラリア。皆さんいかがお過ごしですか?世界中が今、おかしな事になってます。日本も大変な事になっちゃってます。この大不況はまだまだ続きそうですが、おーjee-powerでイージーにのりきってください。俺達も負けません! OG! OG! OG!

ギューゾウ コングラチュレーション11周年!パースでの楽しかった日々は今もよき思い出です。また会えますように。

ダンナ小柳 電撃とパースエクスプレスさんとは、創刊からのお付き合いになります。気がついてみれば11周年ですか…。長いようで短い、遠いようで近い、とても良い関係を築いてこられた事を変えたく嬉しく思っております。20年、30年とこれからもどんどんパースエクスプレスを盛り上げていってください。



### ブッシュウォーカー

パースエクスプレス、11周年おめでとうございます。パース日本語メディアのリーダー格となった今、パースの情報を国内外に広く発信し、更に読み応えのある内容を極めてください。11年目からは頼られるメディアとしての活躍を期待しています。

パースから面白い言人が現る! チャド・マレーン (ジバング上陸作戦)

11周年おめでとうございます!初版の制作をお手伝いしてからもう11年の歳月が経つんですね。これからも、皆に親しまれる“パースエクスプレス”を出して行って下さい!